

科目番号 41

分野	基礎分野・専門基礎分野・ 専門分野 I ・専門分野 II・統合分野・臨地実習			
授業科目	看護研究	科目責任者		
単位/時間数/授業回数	1 単位/	30 時間/	15 回	
授業の種類	講義	・	演習	・ 実習 ・ 実験 ・ 実技
必修・選択	必修	・ 選択	年次・開講時期	3 年次・前後期
履修条件	有 ・ 無 ()			
担当教員名		実務経験の有無・実務経験内容		
		有 ・ 無 (看護師・助産師)		
学習目的と到達目標				
<p>〈学習目的〉 臨地実習において展開した看護を、事例研究としてまとめる過程を通じて、自己の看護観を深めるとともに、研究的態度を身につける。</p> <p>〈到達目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己の学習過程の振り返りの中から、抱いた看護への興味、疑問を看護研究のテーマとして発展させ、研究活動を意図的にかつ計画的に進めることができる。 2. 患者に展開した看護のプロセスを科学的に分析することにより、理論的に研究を進めることができる。 3. 積極的に文献や人的資源を活用して、研究を進めることができる。 4. 論文としてまとめた自己の看護を、他社に伝わりやすいように工夫して発表することができる。 5. 発表会において、互いの研究に興味を持ち、相互に学びを深めることができる。 6. 自己の看護を客観視し、論文としてまとめ発表する過程を通して、自己の看護に対する考えを深めることができる。 7. 看護研究の全過程を通して、看護研究の必要性を理解し、看護を追求する者としての真摯な態度を身につけることができる。 				
授 業 計 画				
回数 (1 回 90 分)	学習課題	学習内容	授業方法	担当
1	看護研究とは	1) 看護研究とは 2) 看護研究の歴史と意義 3) 研究の概観 4) 概念枠組みとは 5) EBN: 根拠に基づく看護	講義	
2	研究計画	1) 研究デザインはなぜ必要か 2) 研究デザインの種類 3) 質的研究と量的研究 4) 実験研究と準備－実験研究 5) 調査方法の種類	講義	
3	文献検討	1) 文献検索 2) 文献を批判的に読む 3) 実際に文献を読む	講義	
4	研究における倫理	1) 倫理とは 2) 研究で陥りやすい倫理問題 3) 対象の権利を守る	講義	
5	データ収集と分析	1) データ収集方法 母集団とは、標本とは	講義	

回数 (1回 90分)	学習課題	学習内容	授業方法	担当
5	データ収集と分析	2) 結果の分析方法 量的研究の分析方法 質的研究の分析方法	講義	
6	研究結果の活用	1) 研究論文の構成方法 2) リサーチクリティーク方法 論文の分析的評価の方法	講義	
7	事例研究	1) 事例研究の意義 2) 事例研究の方法 3) 自分の興味のあるテーマを上げてみる。	講義	
8	研究の実際 1	研究計画書の作成	演習	
9	研究の実際 2	事例研究論文作成	演習	
10	研究の実際 3	事例研究論文作成	演習	
11	研究の実際 4	事例研究論文作成	演習	
12・13	研究の実際 5	研究発表 (1日:4時間算定)	演習	
14・15	研究の実際 6	研究発表 (1日:4時間算定)	演習	
授業内訳	講義:7回(14時間) 演習(研究の実際:論文作成・発表):8回(16時間)			
準備学習等				
<p>〈予習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の興味のあるテーマについて文献を1つ読んでみる。 研究したいテーマについて、簡単にまとめる。 <p>〈復習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究発表時の質疑より、再考察する。 				
成績評価の方法・基準	成績評価の方法:研究計画書レポート(30%),論文作成(50%)・発表(20%) (評価表による) 成績評価の基準:60点以上を合格 80点以上100点までA 70点以上80点未満B 60点以上70点未満Cの評価となる。60点未満は再試験を受験し60点以上を合格 評価はCとなる。			
テキスト	南 裕子編著 看護における研究 日本看護協会出版会			
参考図書				
備考	講義終了時、講義内容に関連した国家試験既出問題等を「振り返りワーク」として実施する。			
国家試験出題基準	必修問題 目標 I-4-C-a, b	基礎看護学 目標 I-1-D-a~d 目標 I-2-B-a~C		